

ホクロのガン

ホクロのガンは正式には、メラノーマあるいは悪性黒色腫とされています。悪性度が高く、転移しやすいため、早期発見が極めて重要です。今回はメラノーマ早期発見に役立つ情報を中心にお届けします。

質問：できやすい部位は？

回答：全身どの部位にでもできますが、足の裏のホクロは体重がかかり、刺激を受けやすいためメラノーマとなりやすく、注意が必要です。糖尿病教室でもお話しましたが、足を見る習慣はメラノーマ早期発見のためにも重要です。

質問：ホクロとの違いは？

回答：メラノーマは悪性ですので、急に大きくなります。ホクロに比べ不整で濃淡があります。ホクロと思っていたのに、じゅくじゅくしたりする場合はメラノーマの可能性が高いですので、放置せずに受診してください。

質問：爪が黒いのですが？

回答：メラノーマでも爪が黒くなることがあります。出血でも爪が黒くなります。出血とメラノーマの違いは、出血の場合黒い爪は、正常な爪に生え変わりますが、メラノーマの場合爪は黒いままで、爪だけでなく爪周囲の皮膚も黒くなってきます。

質問：足のかかるとに色素班ができましたメラノーマでしょうか？

回答：悪性ではないかと心配されて、よく外来を受診されることが多いケースです。多くの場合はバスケットボールなどの運動をされている中学生や高校生の方でブラックヒールと呼ばれるかかとの出血による色素班です。

質問：診断は？

回答：肉眼的にメラノーマが疑われる場合は、病理検査で診断を確定します。最近では、ダーモスコピーという診断機器を用いて、診断の精度が向上しており、当院でもダーモスコピーをメラノーマの診断に活用しています。

質問：治療は？

回答：悪性度が高いので、早期発見、早期治療が極めて大切です。転移していない早期のメラノーマの場合は正常部を含めて病巣部を手術により取り除けば治癒が可能です。

文責(森田秀樹)